



- 会長／小口泰史
- 副会長／中村文明・林 尚孝
- 幹事／山崎典夫
- 会報委員長／梅垣和彦

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2739 回例会 2016 年（平成 28 年）2 月 14 日(日)

国際ロータリー第 2600 地区 諏訪グループ インターシティーミーティング

Rotary 世界へのプレゼントになろう

2015-16 国際ロータリー第2600地区諏訪グループ

Intercity Meeting

インターシティーミーティング

2016.2/14(sun)

会場：ライフプラザ マリオ

諏訪グループIM開催にあたり

本日、諏訪グループのインターシティーミーティングが岡谷ロータリークラブをホストとして開催されますこと心からお慶びを申し上げます。

昨年、貴グループクラブを宮坂幹ガバナー補佐からの詳細な事前訪問報告書を貴重な資料として訪問させていただきました。各クラブとも会員減少という厳しい状況のなかで、側近工夫を凝らして親睦・奉仕活動に取り組んでおられる姿に感銘を受けました。

本日の会員セミナー講師は、ロータリーの職業奉仕について造詣が深い R I D 2840(群馬)の曾我隆一 P D G です。今後のロータリー活動の指針となるお話が聞けるものと期待しています。

また、高林千幸氏をコーディネーターとしての「カイコ・シルクによる新産業創出」にも大変興味があります。「今、再び岡谷から世界へ」の実現に向けての第一歩になればと願っています。本日の成果が参加された皆様方の糧となり、ロータリー精神を鼓舞する有意義な一日となることをご期待申し上げます。

ホストクラブ
岡谷ロータリークラブ

【2015-16年度 IM 実行委員会】
諏訪グループガバナー補佐 宮坂 伸 岡谷ロータリークラブ会長 小口 泰史 IM 実行委員長 中畑 隆一
事務所：岡谷市中央町1-4-12 ☎0266-22-6939 FAX.0266-23-6939 E:okayarc@bz04.plala.or.jp

Intercity Meeting

インターシティーミーティング

ご挨拶：諏訪グループIM開催に向けて

本年度 望月宗敬ガバナー主催による諏訪グループIMが、岡谷ロータリークラブをホストにご来賓をお迎えして盛大に開催されることを心より御礼申し上げます。ガバナー補佐就任以来、後進となくグループ内のクラブを訪問させていただきました。その歴史や規模は異なるも皆様が暖かくお迎えいただいたことや、ロータリークラブを愛し奉仕の精神や理想を大切にしつつ日々の活動をされていることに大きな感動を覚えるものであります。と同時に私自身の学びの機会として大変感謝申し上げる次第であります。

さて、本年は岡谷の歴史が誇る「シルク」を基盤に「今、再び岡谷から世界へ」のテーマのもと先人たちの思いをしっかりと今に伝え、さらにはこれからの未来に向けて「新産業の創造へ」と発展させた内容の講演・シンポジウムを開催いたします。また、それに先立ち会員セミナーでは国際ロータリー第2840地区バスターガバナー 曾我隆一様に、今ロータリーの抱えている今日的課題を国際的視野からお話しいたします。

本日のIMが皆様にとりましてシルクの糸で固く結ばれるごとく親睦を結び、有意義な多き多き一日になりますようご期待申し上げます。本日はご参加ありがとうございます。

本日、国際ロータリー第2600地区諏訪グループのインターシティーミーティングが、ご来賓の皆様、また多くの諏訪グループの会員の皆様にご参加頂き、岡谷ロータリークラブがホストクラブとして開催できる事は、大変光栄に思います。御柱年の大変お忙しい中にもかかわらず、ご参加いただきましたロータリアンの皆様方により御礼申し上げます。

さて本日のIMのテーマですが「今、再び岡谷から世界へ」シルクによる新産業の創造であります。皆様、ご存知のとおり富岡製糸場が世界遺産に登録されてから、シルクが現在再び、脚光を浴びております。動態展示が実現されました岡谷蚕糸博物館には多くの来賓者が見学に訪れております。また、市内の小中学校の生徒がシルクの体験学習の場として利用しており、未来に継承出来る良いチャンスと捉えて居ります。本日は新産業としてのシルクを皆様にご理解いただき有意義なIMとなります事と、諏訪グループのロータリアンの皆様方の友情をより深める場となる事を期待いたしまして、歓迎の挨拶とさせていただきます。

本年度、宮坂幹ガバナー補佐をリーダーに、諏訪グループIMが岡谷ロータリークラブをホストクラブとして開催するにあたり、多くの皆様にご参加いただき心より感謝申し上げます。

その昔より「シルク岡谷」と言われ続けて以来、一昨年、富岡製糸場が世界文化遺産に登録された事により「シルク」に関心が高まる中、本日のテーマを「今、再び岡谷から世界へ」と致しました。明治の時代から岡谷の製糸業で栄えた歴史をたどり、未来を創造する新たな産業の可能性に期待される所です。

第1部の会員セミナーは、講師に 社規定審議会代表議員であります曾我隆一様による講演を頂きます。第2部として、岡谷蚕糸博物館館長の高林千幸様によるシルクの歴史と未来についての講演を頂き、後半のシンポジウムは高林館長様をコーディネーターに、パネリストには岡谷市長の今井建五様、シルクの研究開発分野でご活躍の信州大学教授の玉田精様、カイコの遺伝子組換えの研究等でご活躍の農業生物資源研究所の町井博明様をお迎えしパネルディスカッションと致しました。第3部の懇親会は、年に一回クラブが一堂に会しての機会です。限られた時間ではありますが、大いに会員相互の親睦を深めて頂きたいと思っております。本日のIMが有意義で新産業創出のヒントとなる事を願って挨拶と致します。

会員セミナー・講演会 講師紹介

1. 会員セミナー

■演題：「ロータリーの今日的課題」～職業奉仕・規定審議会から見て～



講師
曾我 隆一氏
(国際ロータリー第2600地区バスターガナー)
(所属RC 新穂ロータリークラブ)

シカゴで3年ごとに開催されます「規定審議会」が、本年は4月10日から15日までの日程で開催されます。そこに提出されています181本の立法案から、今ロータリーにどのような課題があるのかについて私見を交えてお話しいたします。特に「ロータリーの目的」と「奉仕部門」の理解のギャップ(誤解)について触れてみたいと思います。

プロフィール
1977年 稲穂ロータリークラブ入会
2001-02年 稲穂ロータリークラブ会長
1997-98年 地区クラブ奉仕委員長
GSEチーフリーダー
2005-06年 RI第2600地区ガバナー
2010-12年 第一インター AGC
2012-15年 地区研修リーダー
2013年 規定審議会 地区代表委員
2016年 規定審議会 代表委員
ロータリー財団 メジャードナー(レベロ助
米山治房君(メタダブス))

2. 講演会 「今、再び岡谷から世界へ」～シルクによる新産業の創造～

①講演

■演題：「岡谷の歴史に学び未来を思考する」



講師・シンポジウム コーディネーター
高林 千幸氏
(岡谷蚕糸博物館 館長)
(東京大学農学博士、現日本シルク学会会長)

岡谷の歴史は、製糸業を抜きに語ることはできません。明治以前の諏訪地方は、産業の90%が農業でした。中山間地では桑を植える面積が伸び、手挽(てびき)により糸糸を作っていました。明治に入り、平野村(岡谷)の武居代次郎は、「蒸気式繰糸機」を開発し、それは産額で作業能率が上がったため、瞬く間に全国に普及し外貨獲得に大きく貢献し、わが国の近代化の礎を築いたのです。その後、明治後期には多糸繰糸機が開発され、戦後には自動繰糸機が開発されました。製糸技術発展の節目節目で、岡谷の技術者・経営者・研究者等の力が大きく関与してきました。昨今、地方創生が叫ばれていますが、岡谷は明治初期より多くの人の力で、ものづくりによる地方創生、目の新生が図られていたのです。岡谷蚕糸博物館では、製糸の技術的変遷をたどり、その中から先人の発想と努力を学び、それを今後に伝えるとともに、未来を思考し、未来を創造していく博物館を目指しています。



プロフィール
1973年 東京工業大学工学部卒
1974年 農林省蚕糸試験所 研究員
1975年 農林省蚕糸試験所 主任研究員
2006年 岐阜大学農学研究所 研究員
2011年 岡谷蚕糸博物館 館長
農林学博士、日本シルク学会、日本蚕糸学会 常務理事

②シンポジウム(パネルディスカッション)

■テーマ：カイコ・シルクによる新産業創出



パネリスト
今井 竜五氏
(岡谷市長)

1999年 岡谷市長
2003年 岡谷市長
2007年 岡谷市長(現在3期目)
先人が築いたシルク岡谷の歴史を踏まえ、研究機関・大学・民間企業等と連携し、岡谷ならではのシルクによる新産業の創出を図り、岡谷ブランドを推進したい。



パネリスト
玉田 靖氏
(国立大学法人 信州大学 繊維学部 応用生物科学系 生物資源・環境科学 課程 教授)

1986年 京都大学大学院博士課程修了
1999年 農林省蚕糸試験所 主任研究員
2001年 農林省蚕糸試験所 主任研究員
シルクの医療用途への利用の研究の歴史と現在の研究状況を紹介します。医療分野へのシルク活用に関するお話しもいたします。



パネリスト
町井 博明氏
(国立研究開発法人 農業生物資源研究所 理事)

2003年 岡山県立大学 農学部 教授
2006年 独立行政法人農業生物資源研究所 研究員
2011年 岡谷市長
カイコを用いた抗体や検査試薬などのバイオ医薬品の開発、見るシルクや生シルクなどの創作的な新素材の開発等による新たなカイコ産業の創出に向けた取組と展望を概説する。

今、再び岡谷から世界へ
—シルクによる新産業の創造—

Program

本会議

12:30	登録受付		
13:00	点 鐘	諏訪グループガバナー補佐	宮坂 伸
	開会のご挨拶	ホストクラブ会長	小口 泰史
	国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	ソングリーダー	高木 昭好
	RI第2600地区ガバナー挨拶	RI第2600地区ガバナー	望月 宗敬
	IMリーダー挨拶	諏訪グループガバナー補佐	宮坂 伸
	IM実行委員長挨拶	IM実行委員長	中畑 隆一
	来賓祝辞	岡谷市長	今井 竜五
	参加クラブ紹介	ホストクラブ幹事	山崎 典夫
13:30	第1部 会員セミナー 「ロータリーの今日的課題」～職業奉仕・規定審議会から見て～ 講師：曾我 隆一氏(国際ロータリー第2600地区バスターガナー)		
14:15	休 息		
14:30	第2部 講演会 ①講演 「岡谷の歴史に学び未来を思考する」 講師：高林 千幸氏(岡谷蚕糸博物館 館長)		
15:10	休 息		
15:20	②シンポジウム(パネルディスカッション) 「カイコ・シルクによる新産業創出」 コーディネーター：高林 千幸氏(岡谷蚕糸博物館 館長) パネリスト：今井 竜五氏(岡谷市長) 玉田 靖氏(国立大学法人 信州大学 繊維学部 教授) 町井 博明氏(国立研究開発法人 農業生物資源研究所 理事)		
16:30	謝 辞	諏訪グループガバナー補佐	宮坂 伸
	閉会のご挨拶	IM実行委員長	林 尚孝
	点 鐘	諏訪グループガバナー補佐	宮坂 伸
	懇親会		
16:50	開宴のご挨拶	諏訪グループガバナー補佐	宮坂 伸
	次期ガバナー補佐並びに 次期ホストクラブ紹介	諏訪グループガバナー補佐	宮坂 伸
	次期ガバナー補佐挨拶	諏訪ロータリークラブ	大澤 邦彦
	次期ホストクラブ会長挨拶	諏訪ロータリークラブ	獅子栄文夫
	乾 杯	RI第2600地区バスターガナー	宮坂 伸
	懇親の集い		
18:00	ロータリーソング「手に手をつないで」 万 歳	ソングリーダー	高木 昭好
	閉宴のご挨拶	諏訪グループ次期ガバナー補佐	大澤 邦彦
18:15	閉 宴	ホストクラブ幹事	山崎 典夫

国際ロータリー第2600地区 諏訪グループIM-会員セミナー(2016年7月14日)

出席カード
出席証明

お名前 _____
所属クラブ _____

本日はご参加頂きましてありがとうございました。
岡谷ロータリークラブ
幹 事 山崎 典夫



2015～2016 年度 RI テーマ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

